

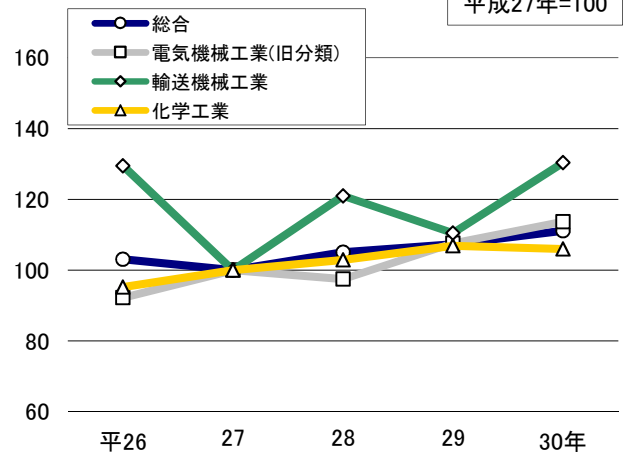
# 鋳工業

## 鋳工業生産の動き

平成30年の鋳工業生産指数(原指数)の年平均は111.1(平成27年=100)で、対前年比3.5%の増加となりました。

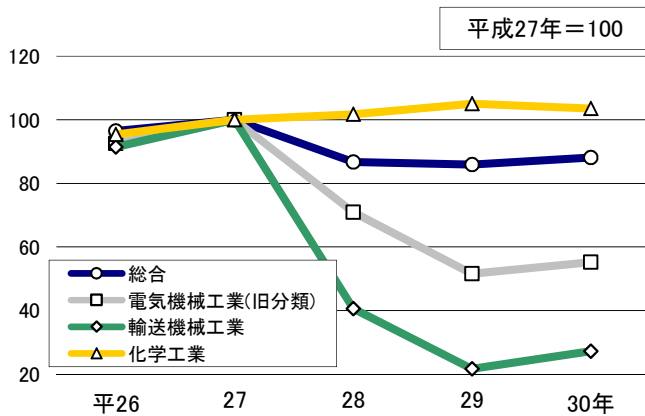
主な業種をみると、電気機械工業(旧分類)113.7(対前年比5.7%増)、輸送機械工業130.4(同18.0%増)、化学工業106.0(同0.8%減)となっています。

図21 鋳工業生産指数(原指数)



資料 県統計課「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

図22 鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)



資料 県統計課「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

平成30年鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)の年平均は88.1(平成27年=100)で、対前年比2.6%の増加となりました。

主な業種をみると、電気機械工業(旧分類)55.2(対前年比7.2%増)、輸送機械工業27.2(同25.9%増)、化学工業103.5(同1.4%減)となっています。

## 平成30年工業統計調査結果

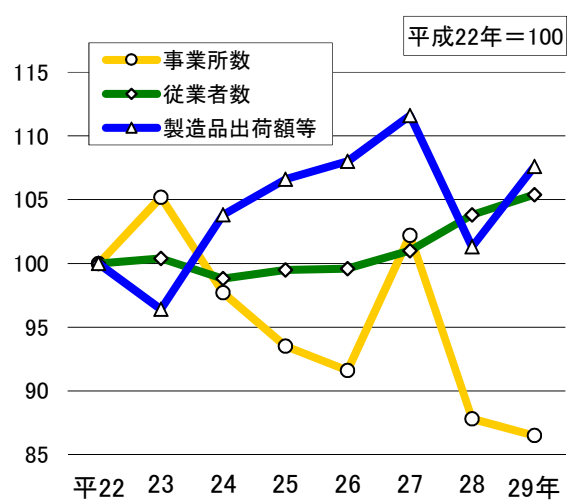
(従業員数4人以上の事業所が対象)

### (1) 概況

平成30年6月1日現在の事業所数、従業員数、平成29年1年間の製造品出荷額等を指数(平成22年=100)で見ると、事業所数86.5(対前年比1.5%減)、従業員数105.4(同1.6%増)、製造品出荷額等107.6(同6.1%増)となっています。

※図23の事業所数、従業員数：平成22, 24, 25, 26年は当該年12月31日現在、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年以降は翌年6月1日現在の数値。

図23 事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移



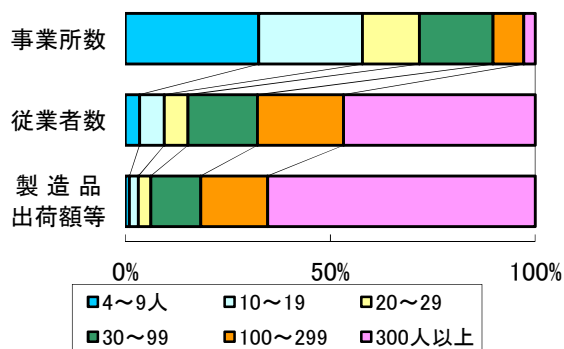
資料 県統計課「三重の工業」

### (2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成30年6月1日現在の事業所数、従業者数及び平成29年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の32.6% (1,124事業所) を占めていますが、従業者数では全体の3.5% (7,094人)、製造品出荷額等では同1.0% (1,041億円) となっています。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.8% (95事業所) ですが、従業者数では全体の46.7% (93,611人)、製造品出荷額等では同65.3% (6兆8,617億円) を占めています。

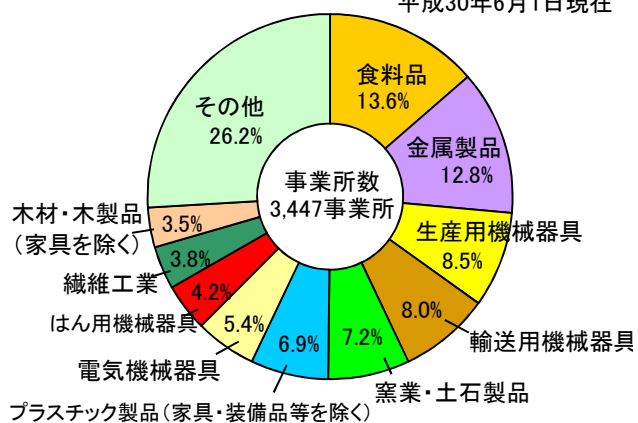
図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

図25 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合

平成30年6月1日現在



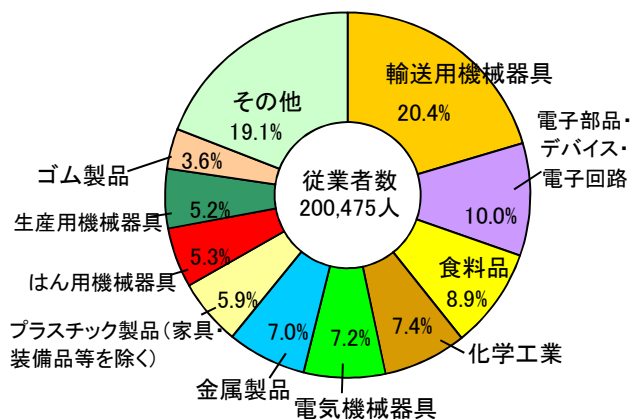
### (3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.6% (469事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が12.8% (442事業所)、生産用機械器具製造業が8.5% (293事業所) などとなっています。

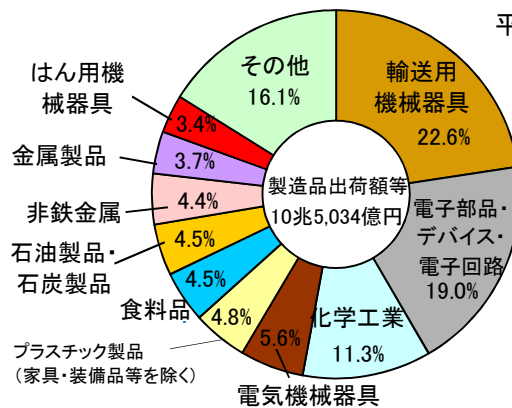
従業者数では、輸送用機械器具製造業が20.4% (40,909人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が10.0% (19,972人)、食料品製造業が8.9% (17,873人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が22.6% (2兆3,734億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が19.0% (1兆9,973億円)、化学工業11.3% (1兆1,866億円) などとなっています。

平成30年6月1日現在



平成29年



資料 県統計課「三重の工業」